

関係各位

公益財団法人 日本国際フォーラム 会長  
 グローバル・フォーラム 代表世話人  
 伊藤 憲一

グローバル・フォーラム 日米対話  
**チャイナ・リスクとチャイナ・オポチュニティ**  
 ——「自由で開かれたインド太平洋戦略」へのインプリケーション——  
**のご案内**

この度、グローバル・フォーラム (GFJ) は、米国カーネギー国際平和財団 (CEIP) および公益財団法人日本国際フォーラム (JFIR) との共催により、2018年3月2日 (金) に東京で、日米対話「チャイナ・リスクとチャイナ・オポチュニティ——『自由で開かれたインド太平洋戦略』へのインプリケーション」を開催することになりましたので、ご案内申し上げます。

近年、中国の自己主張の強まりや米国におけるトランプ政権の登場など、アジア太平洋地域内外の国際戦略環境の劇的な変化が進む中、同地域にインド洋を加えた「インド太平洋」というより広い地理的枠組みの中で、既存の自由で開かれたルールを基盤とした国際秩序の維持・発展を図る戦略的重要性が急速に高まりつつあります。現在、安倍政権が提唱している「自由で開かれたインド太平洋戦略」はまさにこの文脈に位置づけられます。そのような中、めざましい経済成長を継続しつつ、「一帯一路」構想の展開や積極的な海洋進出などを通じて、国際社会にリスクとオポチュニティ (機会) の両方をもたらしている中国が、この地域の国際秩序のあり方に決定的な影響力を持つことは論を俟ちません。そこで我が国は、依然、最重要の同盟国である米国に対し、この地域への積極的な関与を促しつつ、米国と共に、かかる地域秩序に中国をいかに組み込むべきかについての総合的戦略ビジョンを策定し、具体的な政策調整を進めることが急務といえます。実のところ、当フォーラムでは、こうした動きに先駆けて、自由で開かれたルール基盤の地域秩序を維持するとともに、その観点からインド太平洋概念に着目する必要性を、数年前から広く世に問うてきました。今こそ、かかる問題提起をさらに強化・発展させなければならないと感じているところです。

このような問題意識を踏まえ、本対話では、「インド太平洋地域における中国の戦略と政策」および「日米はいかに対応すべきか」の2つのセッションを通じて、中国の自己主張の強まりを前に、わが国と米国が中国のもたらすリスクと機会をいかに評価し、それらにいかに対応してインド太平洋の地域秩序を維持・発展させるべきかについて、日米の第一線の有識者が一堂に会して議論を交わします。なお、本対話は、出席者全員がパネリストに伍して自由に討論することを原則としておりますが、専ら聴衆として参加されることも歓迎致します。また、当日は日本語・英語の同時通訳が入ります。

ご出席可能な方は、下記「出席回答用紙」にて**2月26日 (月) までに**ファックスあるいはメール ([dialogue@gfj.jp](mailto:dialogue@gfj.jp)) にてグローバル・フォーラム事務局宛 (担当: 高畑、勝川) にその旨をご返信ください。また、グローバル・フォーラムのホームページ上 (<http://www.gfj.jp/j/>) から直接お申し込みいただくことも可能です。なお、会場収容能力を超える応募がある場合には、先着順で締め切らせて頂くこともあり得ますので、予めご了承ください。

記

## 日米対話

## チャイナ・リスクとチャイナ・オポチュニティ

——「自由で開かれたインド太平洋戦略」へのインプリケーション——

1. 日 時：2018年3月2日 (金) 14:00—18:00 (開場は13:30)
2. 場 所：国際文化会館「講堂」 (東京都港区六本木 5-11-16 電話：03-3470-4611)

**参加お申し込み**

<本対話に関するお問合せ先>  
 グローバル・フォーラム事務局 担当：高畑、勝川  
 (港区赤坂 2-17-12-1301、TEL：03-3584-2190)

グローバル・フォーラム「日米対話」

## チャイナ・リスクとチャイナ・オポチュニティ --「自由で開かれたインド太平洋戦略」へのインプリケーション--

2018年3月2日 / March 2, 2018  
 国際文化会館、東京 / International House of Japan, Tokyo  
 主催 / Sponsored by  
 グローバル・フォーラム / The Global Forum of Japan (GFJ)  
 共催 / Co-sponsored by  
 カーネギー国際平和財団 / Carnegie Endowment for International Peace (CEIP)  
 公益財団法人 日本国際フォーラム / The Japan Forum on International Relations (JFIR)

2018年3月2日（金） / Friday, 2 March 2018

国際文化会館「講堂」 / "Lecture Hall," International House of Japan

<b>開会挨拶 / Opening Remarks</b>	
<b>14:00-14:10</b>	
開会挨拶 (5分間) Opening Remarks (5 min.)	伊藤 憲一 GFJ代表世話人 / JFIR会長 ITO Kenichi, Chairman, GFJ / JFIR
<b>セッション I / Session I</b>	
<b>14:10-15:55</b>	
<b>インド太平洋地域における中国の戦略と政策</b> China's Strategy and Policy in the Indo-Pacific Region	
議長 Chairperson	神谷 万丈 防衛大学校教授 / GFJ有識者世話人 / JFIR理事・上席研究員 KAMIYA Mataka, Professor, National Defense Academy of Japan / Academic Governor, GFJ / Director and Superior Research Fellow, JFIR
基調講演 (15分間) Keynote Speech (15 min.)	川島 真 東京大学教授 KAWASHIMA Shin, Professor, the University of Tokyo
報告A (10分間) Paper Presenter A (10 min.)	マイケル・スウェイン カーネギー国際平和財団上級研究員 Michael SWAINE, Senior Fellow, CEIP
報告B (10分間) Paper Presenter B (10 min.)	飯田 将史 防衛研究所主任研究官 IIDA Masafumi, Senior Fellow, National Institute for Defense Studies
報告C (10分間) Paper Presenter C (10 min.)	ミラ・ラップーフーパー イェール大学法科大学院上級研究員 Mira RAPP-HOOPER, Senior Research Scholar in Law, Yale Law School
報告D (10分間) Paper Presenter D (10 min.)	伊藤 亜聖 東京大学准教授 ITO Asei, Associate Professor, the University of Tokyo
自由討議 (50分) Free Discussions (50 min.)	出席者全員 All Participants
15:55-16:15 休憩 / Break	
<b>セッション II / Session II</b>	
<b>16:15-17:50</b>	
<b>日米はいかに対応すべきか？</b> How Should Japan and the United States Respond?	
議長 Chairperson	神谷 万丈 防衛大学校教授 / GFJ有識者世話人 / JFIR理事・上席研究員 KAMIYA Mataka, Professor, National Defense Academy of Japan / Academic Governor, GFJ / Director and Superior Research Fellow, JFIR
基調講演 (15分間) Keynote Speech (15 min.)	エヴァンス・リヴィア オルブライト・ストーンブリッジ・グループ上級顧問 Evans REVERE, Senior Advisor, Albright Stonebridge Group
報告A (10分間) Paper Presenter A (10 min.)	細谷 雄一 慶応義塾大学教授 HOSOYA Yuichi, Professor, Keio University
報告B (10分間) Paper Presenter B (10 min.)	ジェームズ・ショフ カーネギー国際平和財団上級研究員 James SCHOFF, Senior Fellow, CEIP
報告C (10分間) Paper Presenter C (10 min.)	大庭 三枝 東京理科大学教授 OBA Mie, Professor, Tokyo University of Science
報告D (10分間) Paper Presenter D (10 min.)	ニコラス・セーチェーニ 米戦略国際問題研究所日本部副部長・上級研究員 Nicholas SZECHENYI, Deputy Director, Japan Chair, CSIS
自由討議 (40分) Free Discussions (40 min.)	出席者全員 All Participants
<b>総括セッション / Wrap-up Session</b>	
<b>17:50-18:00</b>	
総括 (10分間) Wrap-up (10 min.)	ジェームズ・ショフ カーネギー国際平和財団上級研究員 James SCHOFF, Senior Fellow, CEIP
	神谷 万丈 防衛大学校教授 / GFJ有識者世話人 / JFIR理事・上席研究員 KAMIYA Mataka, Professor, National Defense Academy of Japan / Academic Governor, GFJ / Director and Superior Research Fellow, JFIR

[NOTE] 日本語・英語同時通訳付き / English-Japanese simultaneous interpretation will be provided.